安曇野市教育委員会だより　ふるさと安曇野

基本理念　◇ すべての人が生涯を通じて学び合い、文化のかおり高い安曇野を目指します。　◇ からだを動かし、頭で考え、心に感ずる“未来を拓くたくましい安曇野の子ども„を育みます。

#8
11月
2026

“平和のために私たちができることは”
―広島平和記念式典に参加した若者たちから学んだこと―

教育長　橋渡　勝也

安曇野市は安曇野市平和都市宣言[*1]の制定にあわせて広島平和記念式典参加事業を始め、今年も市内7中学校から21人の生徒を派遣しました。今年で13回目を数え、のべ269人が参加しました。

中学生は松本大学平和創造研究会の支援を受けて学習を重ね、9月12日には「広島平和記念式典参加事業成果発表会」と過去の式典参加者（高校生）による「平和トークディスカッション」に臨みました。

共通の体験を持つ中・高・大学生が一堂に会して“平和のために私たちができることは”という問いに真剣に向き合いました。意見の中には「当たり前の日常を大切にする」、「小さな声に耳を傾ける」、「人それぞれの考えを知る」、「自ら学び続ける」、「実際に目で見て聞いて感じる」、「学んだことを伝える」、「身近なところから考える」、「世界に知らせる」、「行動を起こす」など、平和のためにできることがたくさんあることを見出し共有しました。

次代を担う若者たちの発言に明るい未来を感じました。そして、私たち大人にも、できることはたくさんあることを改めて学びました。

*1:「安曇野市平和都市宣言」

雄大な北アルプスの麓　清らかな水
緑かがやく　自然豊かな安曇野を
私たちは守っていきます

健康で幸せな生活のために
みんなで支えあい　差別のない社会を
私たちは築いていきます

みんなの笑顔が　子どもたちの明るい未来が
いきいきとした命の営みが続くことを
私たちは求めていきます

平和を願う人々と手を取り合って
全ての不安や争いをなくすために
私たちは行動します

私たちは　美しい故郷　安曇野から
平和な社会の実現に向け
ここに「平和都市」を宣言します

（平成24年12月19日宣言）

安曇野市教育委員会　令和８年10月定例会　会議概要

10月28日（水）　陳情1、議案数2、報告数4

10月 定例会

（主な議案）

・通学路における受動喫煙の防止を求める陳情について（継続審査）
・安曇野市こども計画検討会議要綱の廃止について（承認）
・令和8年度 交通事故0（ゼロ）プロジェクトに係る交通安全啓発動画について（了承）

次回定例会の予定

・11月定例会　　11月27日（金）　午後1時30分から　市役所本庁舎301会議室　申込み不要で傍聴できます

交通安全

実例から考えよう
起こり得る交通事故を防ぐために（５）

＜実際の事例＞

中学生が登校時に、道路左側の路側帯（歩道がない道路の端に白線で区画されたスペース）を自転車で走行中、歩行者を避けようとハンドルを操作したところ、グレーチング上でタイヤが滑り、バランスを崩して転倒した。事故後、病院を受診し、手首骨折で全治6週間の診断を受けた。

＜学校教育課・地域づくり課交通安全担当者からのコメント＞

歩道がない道路に見られる1本の白い実線によって区画された路側帯は、道路交通法で定義や通行方法が定められています。自転車はここを歩く歩行者の通行を著しく妨げない範囲で通行できます。今回の事例では、自転車が左側の路側帯を走行し、歩行者を意識して衝突や接触を回避しようとしたことは適切だったと思われます。転倒が車道側でなかったことは幸いでした。慣れた道でもグレーチングやマンホールの蓋などの路面状況や、雨や風などの気象状況にも注意を払う必要があります。

なお、子どもたちが守るべき自転車のルールについて、交通事故0（ゼロ）プロジェクトの一環として交通安全啓発動画を公開しています。ぜひご視聴ください。　詳しくはこちら（安曇野市公式YouTubeチャンネル）

※この内容については、学校への注意喚起として情報提供します。

注目のとりくみ

子育支援

子どもの権利を考えるイベントを開催します

安曇野市は令和7年度に「安曇野市子どもの権利に関する条例」を制定しました。これを踏まえ、子どもの権利について多くの方と一緒に考えていくために、筑北村教育委員会教育支援室長の神谷哲彦さんを招き、子どもの自尊感情と地域の関係について講演をしていただきます。また、子ども達による、ダンス、バレエなどのステージ発表や、子どもの権利に関するパネル展も行う予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時　12月5日(土)13:00～14:30(講演会)
15:00～17:30(ステージ発表)

開催場所　豊科公民館

詳しくはこちら

学校教育

中学生キャリアフェスティバルが開かれました

10月20日(火)に穂高会館を会場に、今年度で3回目となるキャリアフェスティバルが開催されました。このイベントは、市内の中学1年生が、地域で働いて活躍している大人の姿や考えにふれることで、将来に繋がる自分たちの生き方や、働く意味を考える機会とするとともに、地域の大人との交流を通して、自分たちが暮らす地域に「誇り」や「郷土愛」を育むことを目的としています。

当日は、市内の53の個人・事業所がブースを設け、集まった中学生に対して仕事の魅力ややりがいなどを話し、中学生の質問にも丁寧に答えていただきました。

社会教育

安曇野市二十歳の集いに向けて

安曇野市では、令和9年1月10日(日)に「令和9年安曇野市二十歳の集い」を開催します。今回の二十歳の集いは、対象者の中から応募で選出された8名が実行委員となり、「安曇野Lovers～つながりを力に、大人として未来へ～」をテーマに、交流企画・記念品・広報の内容を検討しています。

当日は、テーマに関連した3つの交流企画を予定しており、詳細は実行委員会が運営するインスタグラムを中心にお知らせします。また、記念品として、式典当日の様子や参加者の思い出を収録した記念冊子を、後日対象者へお送りします。

二十歳という節目を迎えた皆さんの思い出に残る一日となるよう、実行委員が準備を進めています。対象者への案内通知は、11月中旬に発送予定です。

詳しくはこちら

つぶやき

本物のクマに出会った子どもたち

野外でクマに出くわしたわけではありません。今年7～9月に市内の認定こども園で3回実施した「クマ対策研修会」でのことです。講師の瀧井暁子さんが用意してくれたツキノワグマのはく製や毛皮、骨、ふん、ふんから出て来た種、かじられて穴があいてへしゃげた蜂蜜の缶などが所せましと並べられた遊戯室で、大人も子どもも恐らく初めて本物のクマと対面したのです。最初、おそるおそる入ってきた園児たち。最後には、はく製にまたがったり、ほおずりしたり、毛皮の上に寝そべったりと五感を使って手触り、におい、大きさや重さを実感！―「あづみの自然保育」の醍醐味を味わったひと時でした。(ka)

感想やご意見などをお寄せください。
連絡先：安曇野市教育委員会 教育部 学校教育課 教育総務係
Mail：gakkoukyouiku@city.azumino.nagano.jp